



人生の大きな分岐点で何を考えるか！

1月22日(火)の筑後地区私立高等学校専願入試を皮切りに、私立一般入試、公立推薦入試、公立一般入試と、3年生は自分の進路を実現していくために前進しています。今のところ受験した生徒は、首尾よい結果を得ており、一安心しているところです。

今年のPTA総会で、校内の推薦基準をお示しした際に次の内容を述べました。

- ・私たちの教育の目的は「人格の完成」です。それは、社会に出て十分に通用する人物、周りと協力して社会を創りあげることのできる人物です。
- ・普段の学校生活できちんと授業を受けきれない、自分勝手な行動が改善できないという生徒が、入試の時だけとりつくろって合格を手に入れたとすれば、その子の人生において間違った学習を積み重ねてしまうと考えます。



入試の結果は「合格」か「不合格」しかありません。人生の大きな分岐点ではあるのは事実ですが、その結果でめざす進路が閉ざされるわけではありません。入試を体験し、その結果を受け止め、その後の人生に生かそうとする態度と能力をはぐくめたかどうか。本校で教育してきた私どもの真価が問われるところであろうと思います。

多分、みなさんは、下手くそな高学歴の歯医者より、患者の立場に気を配る上手な歯医者の方を選択するでしょう。学校は進路実現のための手段で、仕事に就いてから向上心を持っている人こそが、幸せな人生の条件の一つを手に入れることができます。

是非この受験を「人生」という視点で捉え、自分自身の将来を見つめ直す機会としてほしいと思います。



卓球部にとっての「当たり前」のレベルの高さが他校との差としてあらわれる！

去る2月2日(土)に、福岡市民体育館において中体連新人卓球県大会が開催され、本校女子卓球チームが筑後地区の代表として出場しました。

予選リーグを志摩中、吉富中に連勝して、リーグ1位で決勝トーナメントに進出しました。決勝トーナメントでは優勝候補の1つである飛幡中と対戦し3-1で敗れ、ベスト8という結果でした。素人目ですが、八女地区優勝時、筑後地区優勝時と比べて、ゲーム展開での粘りや、鬼塚顧問の指示をもとに自分で状況を打破しようとする工夫を感じ、成長の跡を見ることができました。全員が試合に出場し、今後に生かせるよい経験を積んだと思います。



卓球部にとって、練習で休まないのは当たり前、妥協せず自分を磨くのは当たり前、地区大会で優勝めざすのが当たり前、県大会で存在感を示すのが当たり前。そういう意識を維持しているからこそ結果が伴っているのだと思います。自分にとっての「当たり前」、自分を向上させるレベルになっていますか？

立花中の新たな挑戦！

次年度から八女市では部活動ガイドラインを設定し、その取組の一つとして「ノー部活デー」を平日に実施するようになっています。本校では、今年になって試行実施しています。※ガイドラインの詳細は確定してから八女市のHPで公開されます。

「ノー部活デー」の試行に併せて、放課後に「進路を拓く楽習会」を開設しました。この楽習会は、自分の将来に目標を持ち、実現するための基礎的な学力をつける自主的な学習を、本校職員が支援するというスタイルで行っています。

現在2回実施していますが、生徒たちは自分で机を出し、自分の課題を黙々と学習し、終わったら自分で机を片付けて帰ります。

水田教諭を中心に、中村、堤み両教諭がサポートします。

本校の新たな取組。生徒の自主性と学力が伸長することを期待しています。

